

記入例

ここにこすくーる朝時間等利用 **新規** 申請書

朝時間等利用を新規で申請する場合は、「新規」を入力してください。申請内容に変更が生じた場合は、「変更」を入力してください。

ここにこすくーる登録申請書の保護者名と統一してください。

令和 8 年 2 月 1 日

ふりがな あらかわ たろう
氏名 荒川 太郎

住所 荒川区荒川2-2-3

電話番号 〇〇〇 (〇〇〇〇) 〇〇〇〇

下記のとおり(〇〇)ここにこすくーるの朝時間の利用を申請します。

利用年度の学年を記入してください。

ここにこすくーる名を記入してください。

児童名	あらかわ こたろう 荒川 小太郎	学年	1 年
ふりがな	あらかわ こはな 荒川 小花	学年	3 年
児童名			
ふりがな			
児童名			
申請時間	<input type="checkbox"/> 午前8時30分～午前9時(朝時間) <input checked="" type="checkbox"/> 午前8時15分～午前9時(特別朝時間) 申請する区分に☑を記入		

申請区分(朝時間もしくは特別朝時間)に☑をしてください。それぞれに利用要件があります。

就業証明書記載の勤務開始時間・通勤時間を記入してください。
 日常的に時間外勤務をしている場合は、就業証明書記載の時間外勤務を含む勤務開始時間を記入
 令和8年4月1日以降に育児短時間勤務を取得予定の場合は、育児短時間勤務の開始時間を記入

【備考】 正規の勤務時間の開始時刻及び通勤時間
 深夜勤務(午前0時を超える勤務)の

勤務時間の開始時刻(時間外勤務を含む)	午前 9 時 00 分	午前 9 時 00 分
通勤時間	時間 50 分	時間 34 分
自宅を早く出なければならない理由がある場合はあてはまる理由を選び、時間を記入してください。 各項目30分を超える場合、具体的な理由を記入してください。	始業前の準備作業 ()分	始業前の準備作業 (10 分) 保育園等の送り迎え (10 分) その他(具体的に:)分 項目30分を超える理由
実際に自宅を出る時間 (- -)	午前 8 時 6 分	

自宅を早く出る必要がある場合は、該当する理由を選んで、その時間を記入してください。
 いずれかの項目で30分を超える場合、具体的な理由を記載してください。
 「勤務時間の開始時刻」から「通勤時間」を差し引いた時間がすでに朝時間・特別朝時間の要件を満たしている場合、の記入は不要です。

(その他の事由)

就労（深夜勤務を除く）以外の事由で申請される場合は、こちらに記入してください。

児童との続柄

母

事由

通院

病名:〇〇
通院先の病院:〇〇病院
病院住所:東京都荒川区荒川〇-〇-〇
通院期間:令和〇年〇月〇日~令和〇年〇月〇日
通院頻度:週3日
通院時間:午前9時~午前11時
自宅から通院場所までの所要時間:50分

具体的な状況に記載する内容

具体

- 深夜勤務の場合
勤務開始時間及び勤務終了時間、 通勤時間
- 出産の場合
母子手帳記載の出産予定日
- 通院の場合
病名、 通院先の病院名、 病院住所、 通院期間、 通院頻度（週〇日、月〇日等）、 通院時間、 自宅から通院場所までの所要時間
- 入院の場合
病名、 通院先の病院名、 病院住所、 入院期間
- 自宅療養の場合
病名、 手帳の有無、（有の場合は級・度）
病気の具体的な状況（ 〇〇な状況で保育をすることが困難等）
- 看護の場合
被看護者の氏名、 被看護者の児童との続柄、 病名
状況（入院・通院・自宅療養）
看護場所...病院の場合：病院名・住所自宅から病院までの所要時間
被看護者の家の場合：住所・自宅から看護場所までの所要時間
看護の頻度（週〇日、月〇日等）、 看護が必要な時間（午前〇時~午後〇時）
看護が必要な具体的な状況（〇〇のような状況で朝から〇〇をする必要がある等）
- 介護の場合
被介護者の氏名、 被介護者の児童との続柄、
要介護認定の有無（有の場合は要介護度）、 手帳の有無（有の場合は級・度）
介護場所（施設・被介護者の家等）、 介護場所の住所
自宅から介護場所までの所要時間、 介護の頻度（週〇日、月〇日等）
介護が必要な時間（午前〇時~午後〇時）
介護が必要な具体的な状況（〇〇のような状況で朝から〇〇をする必要がある）
- 就学の場合
学校名、 学校住所、 通学期間、 カリキュラムの開始時間
自宅から学校までの所要時間
- 不存在の場合
記載不要

児童

事由

具体